



共立女子大学・短期大学 学修行動調査（卒業3年後アンケート）実施結果

1. 調査実施期間及び実施方法

実施期間 2022年12月20日～2023年1月15日

実施方法 インターネットによるアンケート調査。

回答者には Amazon ギフトカード 500円分をメールにて送付。

2. 設問項目

- ・回答者に関する設問
- ・社会人基礎力をはじめとした各能力に関する設問
- ・学生時代の取り組みに関する設問
- ・本学に対するイメージに関する設問
- ・今後の本学の充実策に関する設問
- ・本学の総合満足度

3. 回答率

	2022年度 (2018年度卒業生)
調査票発送数	1,390(内、不達179)
回答数	185
実回答率	15.3%

4. 回答結果

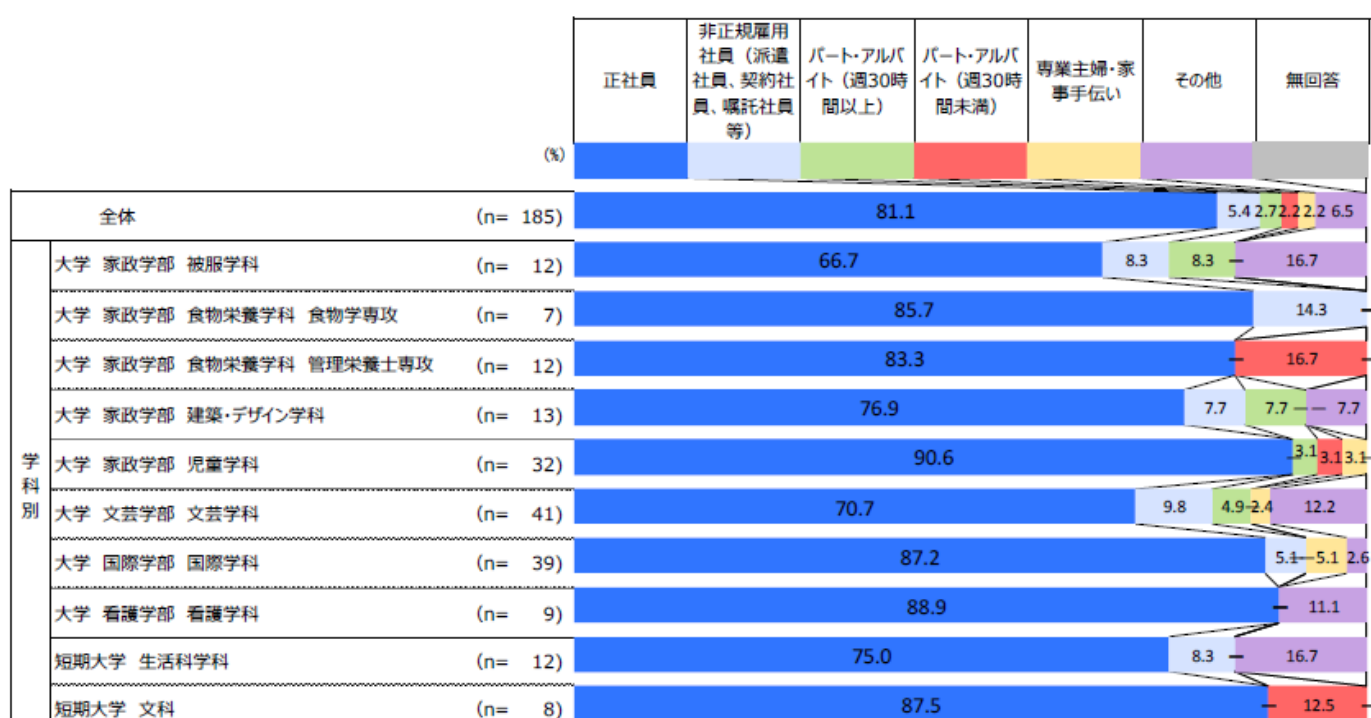
回答者のプロフィール

所属、現在の状況、就職先の業種・職種、転職・退職の有無について確認した。81.1%が正社員として就労しており、職種としては、事務職が最も多く35.1%であった。転職・退職の有無に関しては、31.9%の卒業生があると回答し、今後の転職・再就職の意向に関しては、55.1%の卒業生がはいと回答した。

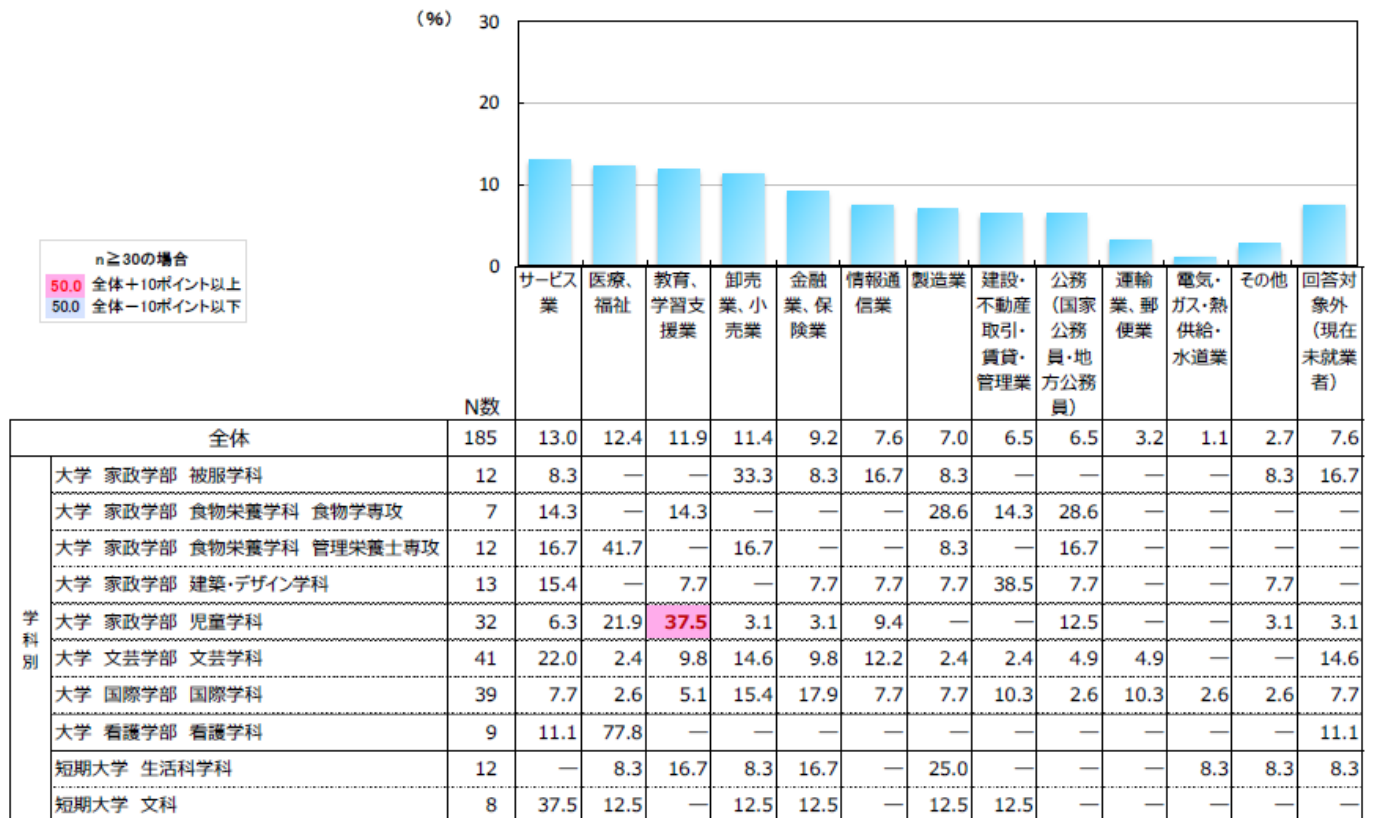
Q.あなたの卒業年度、所属していた学部・科を教えてください。

学科別	件数
大学 家政学部 被服学科	12
大学 家政学部 食物栄養学科 食物学専攻	7
大学 家政学部 食物栄養学科 管理栄養士専攻	12
大学 家政学部 建築・デザイン学科	13
大学 家政学部 児童学科	32
大学 文芸学部 文芸学科	41
大学 国際学部 国際学科	39
大学 看護学部 看護学科	9
短期大学 生活科学科	12
短期大学 文科	8
合計	185

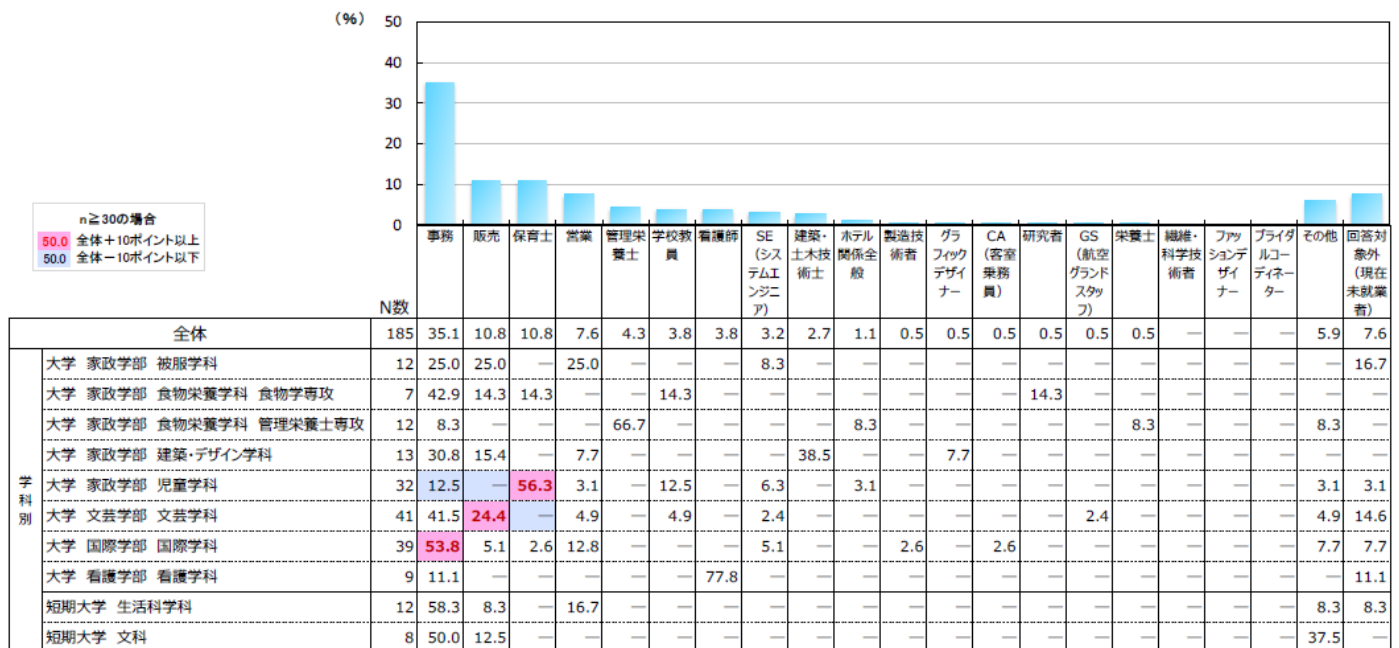
Q.現在のあなたの状況として、当てはまるものをお知らせください。



Q.現在のあなたの就職先の業種として当てはまるものをお知らせください。

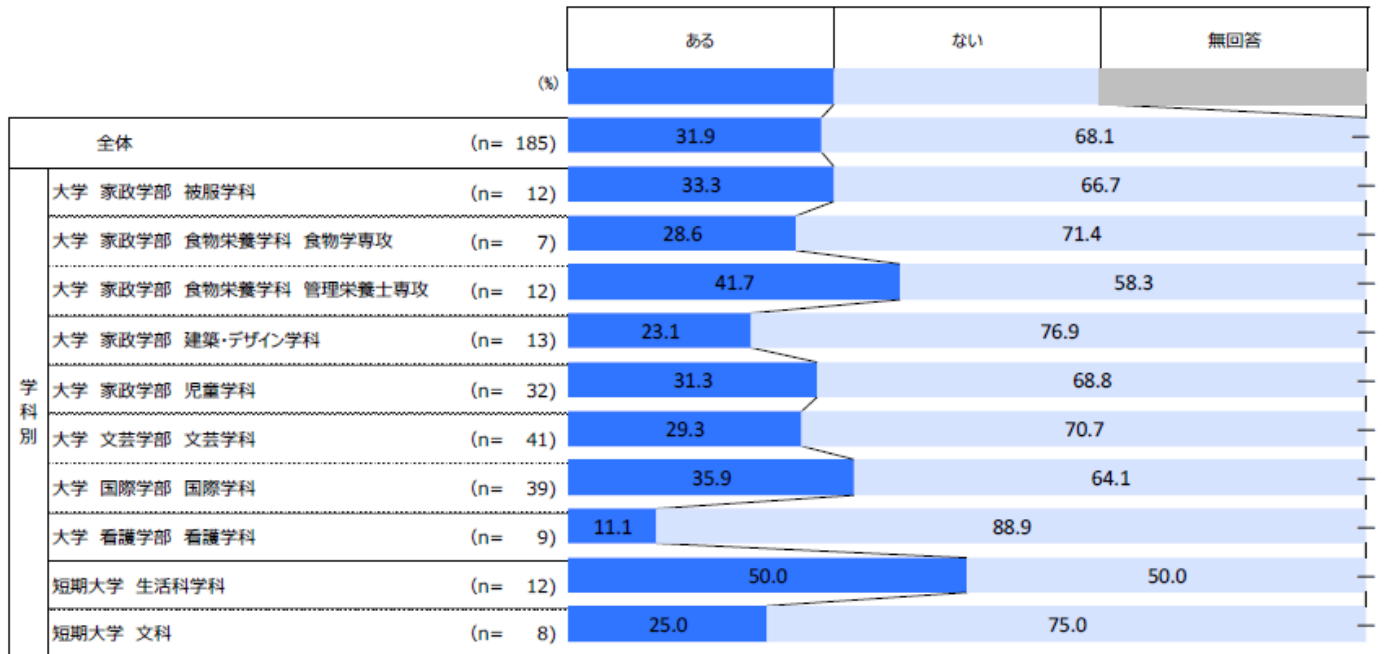


Q.現在のあなたの就職先の職種として当てはまるものをお知らせください。

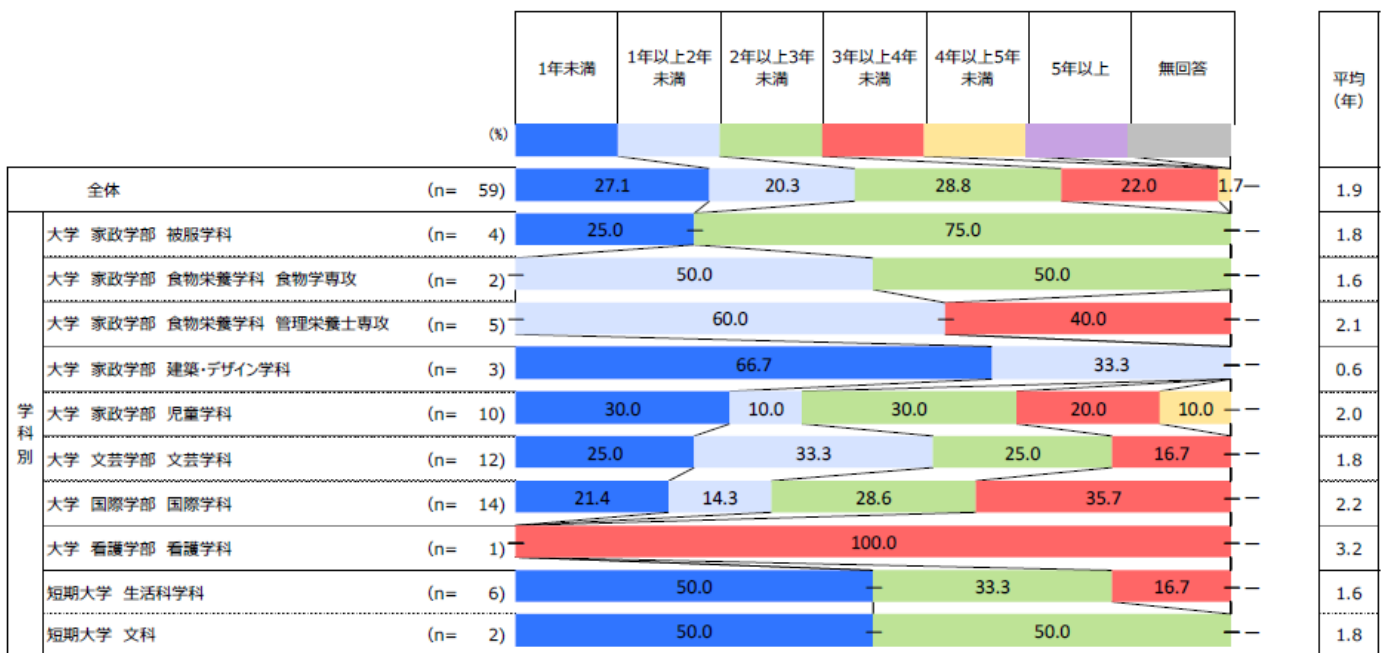


Q.あなたはこれまでに転職・退職をしたことはありますか。また最初の就職先から転職・退職したのは勤続何年目でしたか。

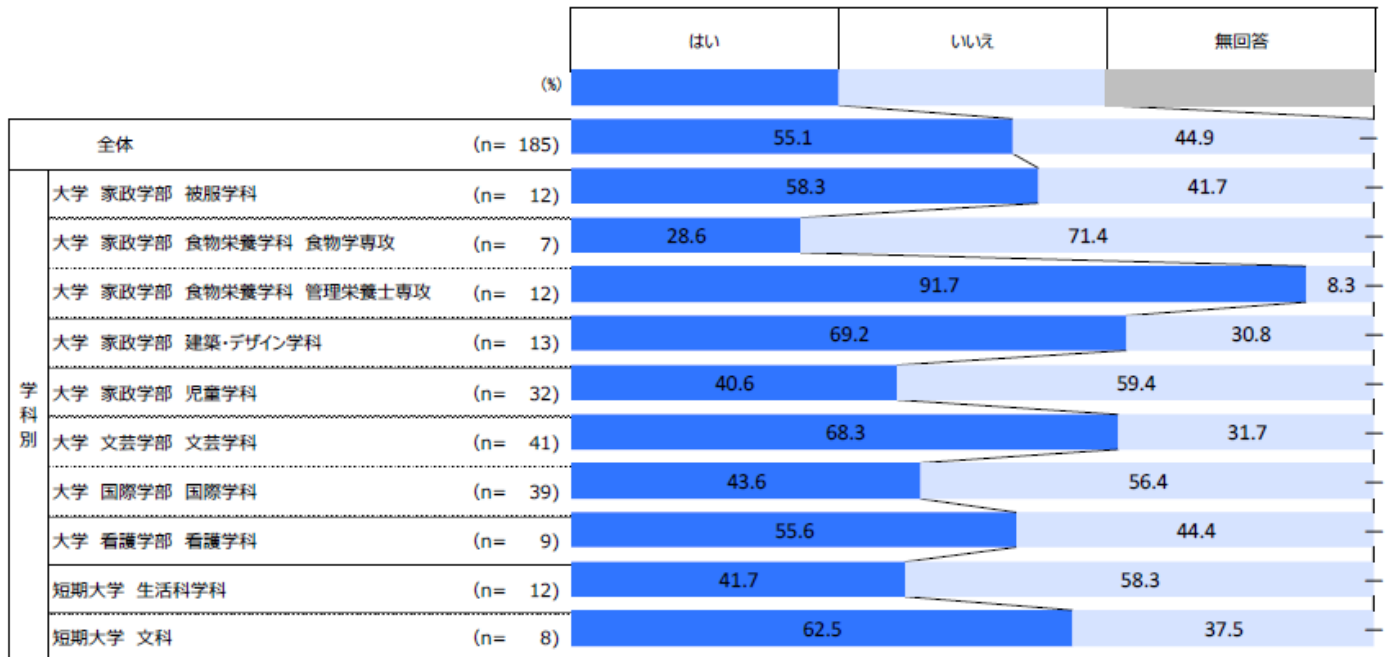
転職・退職 有無



転職・退職時期の勤続年数（退職経験者／複数回答）



Q. 今後、転職や再就職をしたいと考えていますか。



学生時代に身に付けた能力・職場（社会）生活で必要とされている能力

Q.あなたが学生時代に身につけた能力について該当する箇所にチェックを入れてください。

Q.あなたが職場（社会）生活で必要とされている能力について該当する箇所にチェックを入れてください。

各基礎力について、「必要度」を縦軸、「修得度」を横軸に設定して座標軸の図を作り、その中に平均点でプロットしてポートフォリオ分析を行った。

各座標の交点は必要度、修得度それぞれ全項目の平均値としている。

<平均値>

■ 必要度：「職場（社会）で必要とされている度合い」

絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、

少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■ 修得度：「学生時代に身についた度合い」

かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、

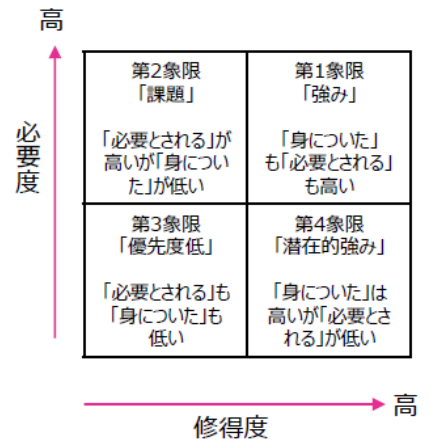
あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点として加重平均値を算出。

（無回答は除く）

● 次ページ以降ではそれぞれ下記を基準に項目を抽出した

【強みの項目】：「必要とされる」が平均値以上、「身についた」が平均 + 0.2点以上

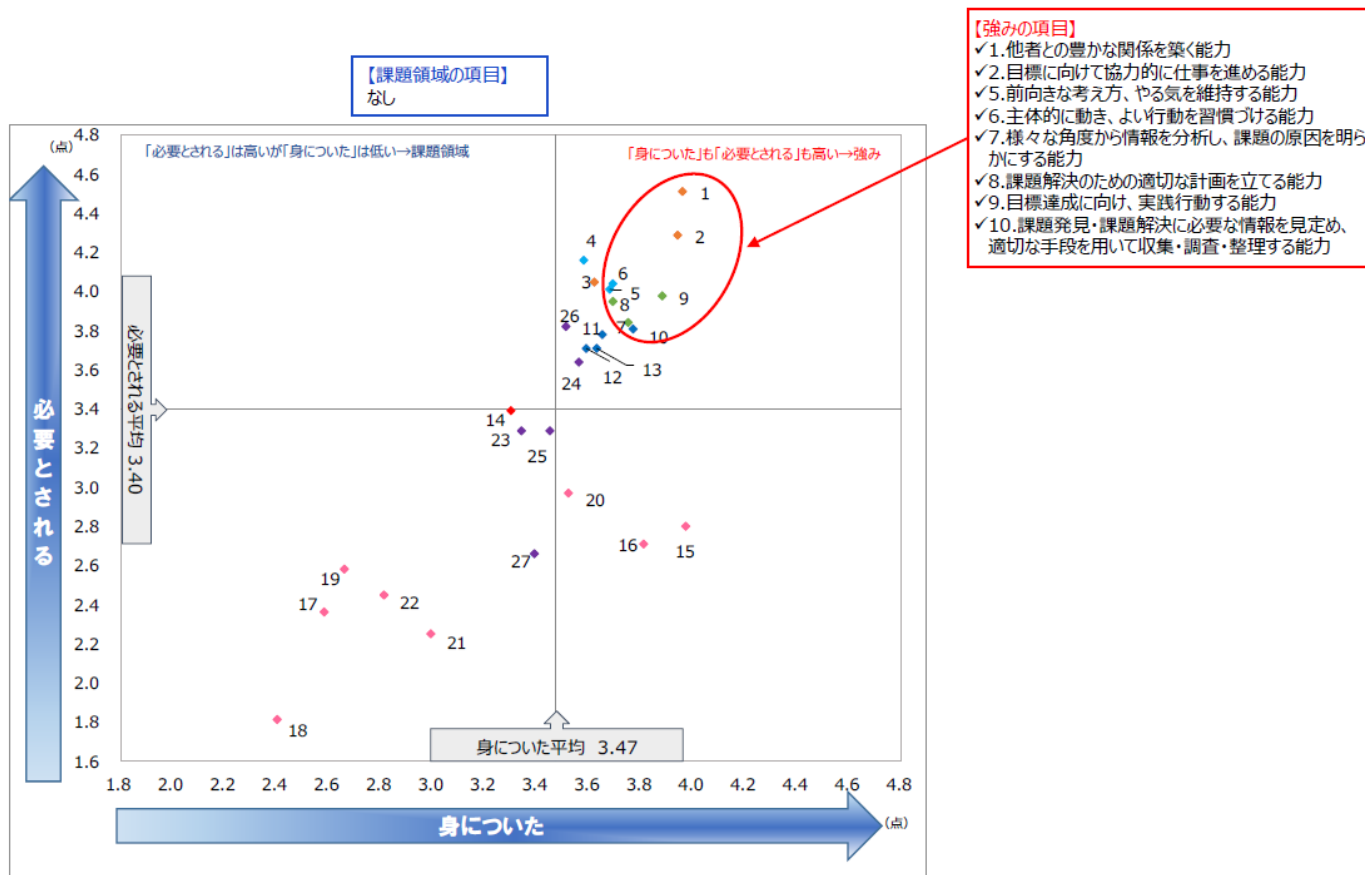
【課題領域の項目】：「必要とされる」が平均値以上、「身についた」が平均値未満



【各基礎力の凡例と項目名】

ラベル	項目名	ラベル	項目名	ラベル	項目名				
対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	リテラシー	情報収集力	10. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力	アカデミックスキル	データサイエンス能力	19. 数理的思考力とデータ分析・活用能力（数理・データサイエンス、情報科学など）	
	協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力		情報分析力	11. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力		知識・教養	20. 専門以外の幅広い知識や教養	
	統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力		課題発見力	12. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力		専門知識	21. ダブル・メジャーやメジャー・マイナー等、複数の専攻分野の専門的な知識	
対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	構想力	13. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	知識・教養	22. 文理融合の領域横断的な知識や教養	その他	14. リーダーシップ	23. 論理的思考力
	自信醸出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	専門知識	15. 大学の専門科目で学んだ知識・技能		24. 文章表現能力			
行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力	一般教養	16. 大学の教養科目で学んだ知識・技能		25. プレゼンテーション能力				
対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	外国語能力	17. 外国語を使う能力（英語）		26. PCの利活用スキル			
	計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	外国語能力	18. 外国語を使う能力（英語以外）		27. 取得資格			
	実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力							

【ポートフォリオ】



学生時代の取り組み

Q.あなたが学生時代に取り組んだ学修、学生生活の取り組んだ度合いを教えてください。

Q.あなたが学生時代に取り組んだ学修、学生生活の取り組んだ満足度合いを教えてください。

※取り組んだ科目・項目のみご回答ください。未履修の科目や取り組んでいない項目は、未回答のままで構いません。

【配点】

■ 取り組み度：学生時代に取り組んだ

とても熱心だった：5点、やや熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、あまり熱心でなかった：2点、まったく熱心でなかった：1点、経験しなかった：0点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

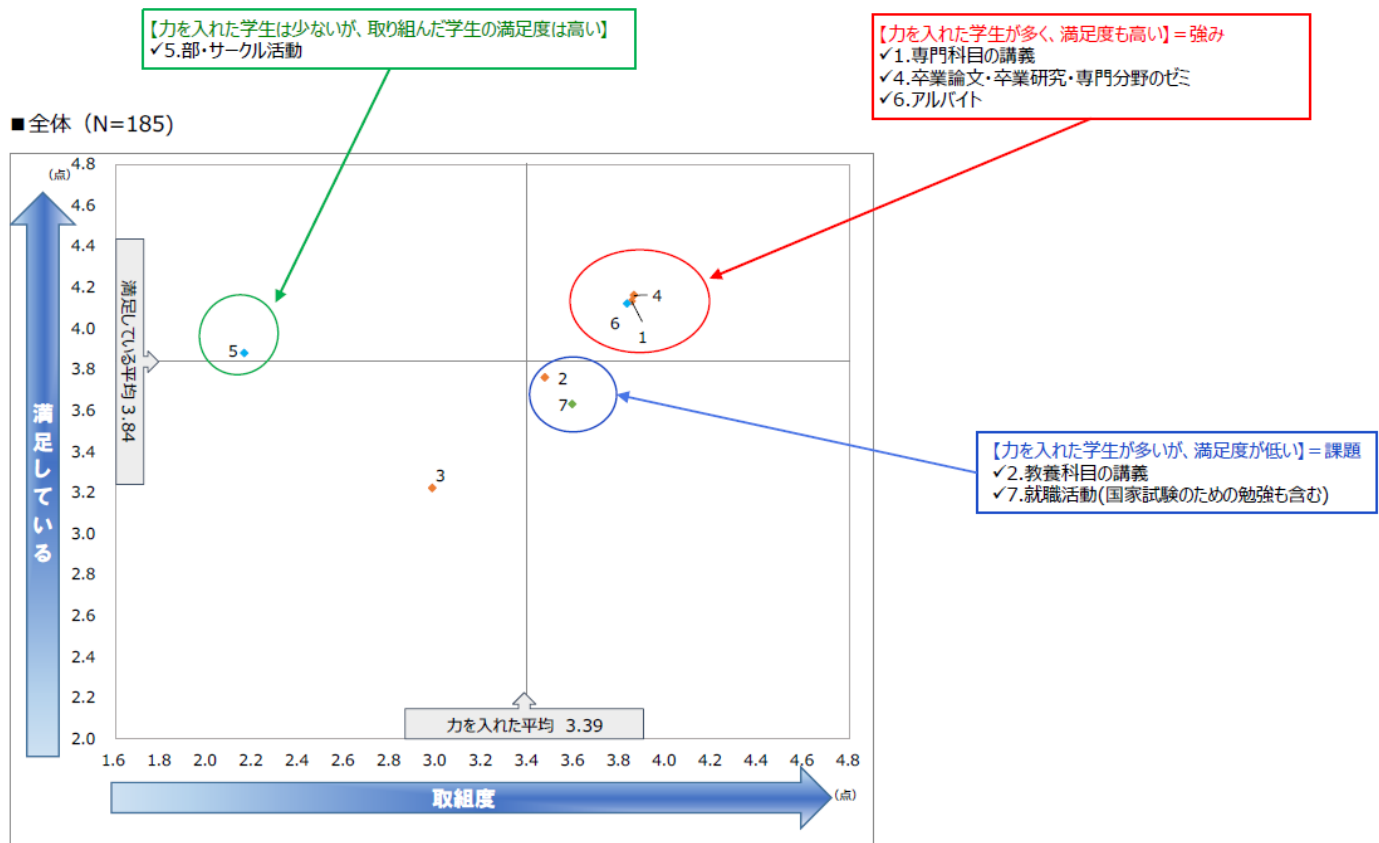
■ 満足度：学生時代に取り組んだ学生の満足度

とても満足している：5点、やや満足している：4点、どちらともいえない：3点、あまり満足していない：2点、全く満足していない：1点、として加重平均値を算出。（「経験しなかった」、無回答は除く）

【項目名】

1.専門科目の講義
2.教養科目の講義
3.外国語の学修
4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
5.部・サークル活動
6.アルバイト
7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)

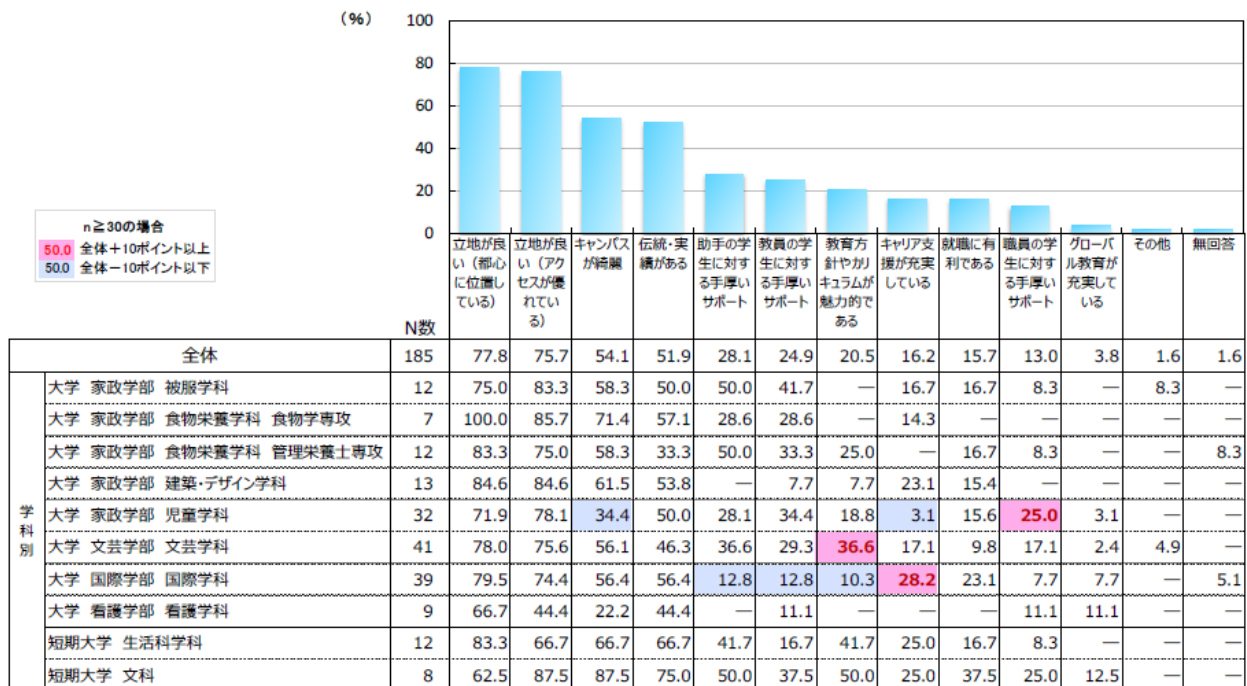
【ポートフォリオ】



本学に対するイメージ

本学に対するイメージは、“立地が良い”という回答が多く、立地が良い（都心に位置している）が77.8%、立地が良い（アクセスが優れている）が75.7%、次いでキャンパスが綺麗が54.1%であった。

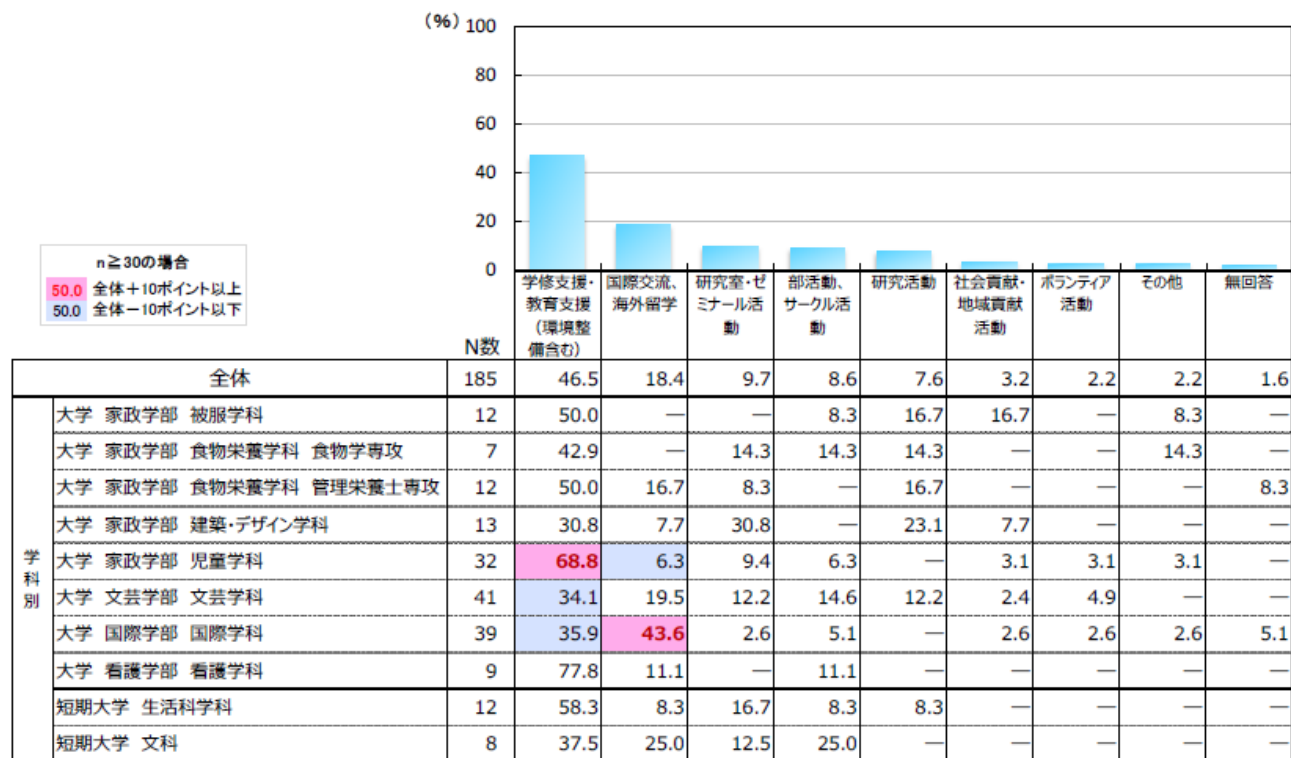
Q.本学に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。（複数回答可）



今後の本学の充実策

本学が今後どのような分野や支援を充実させることが望ましいか確認したところ、学修支援・教育支援（環境整備含む）が46.5%と最も多かった。次いで、国際交流、海外留学が18.4%であった。

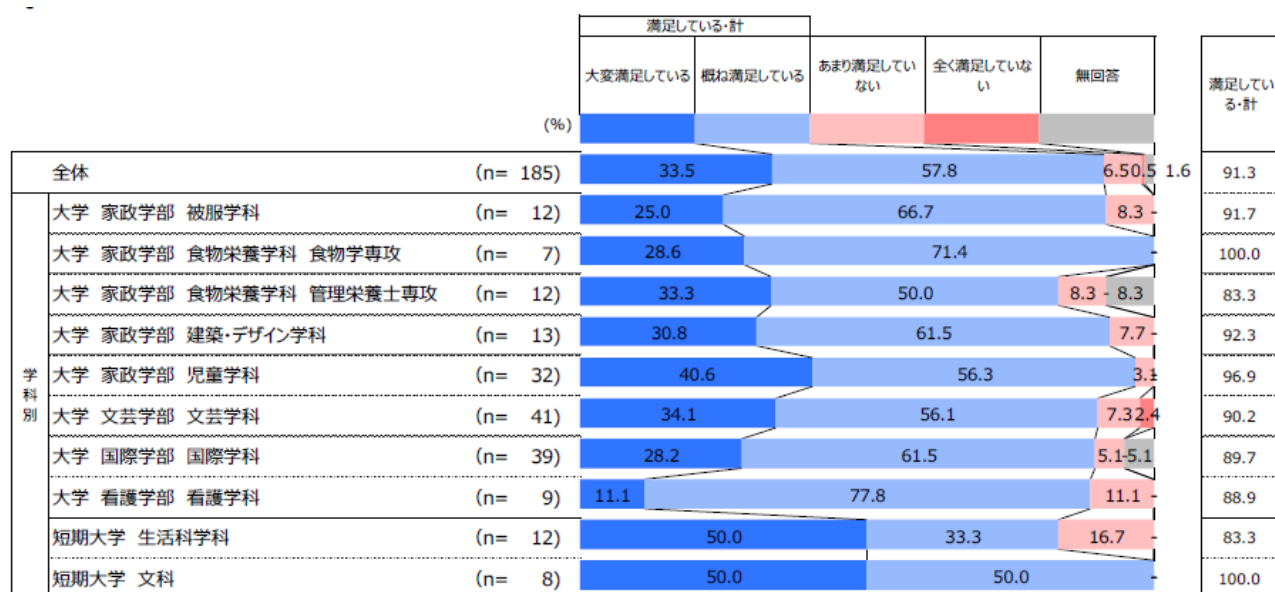
Q.本学は、今後どのような分野、又は支援を充実させることが望ましいと思われますか。（複数回答可）



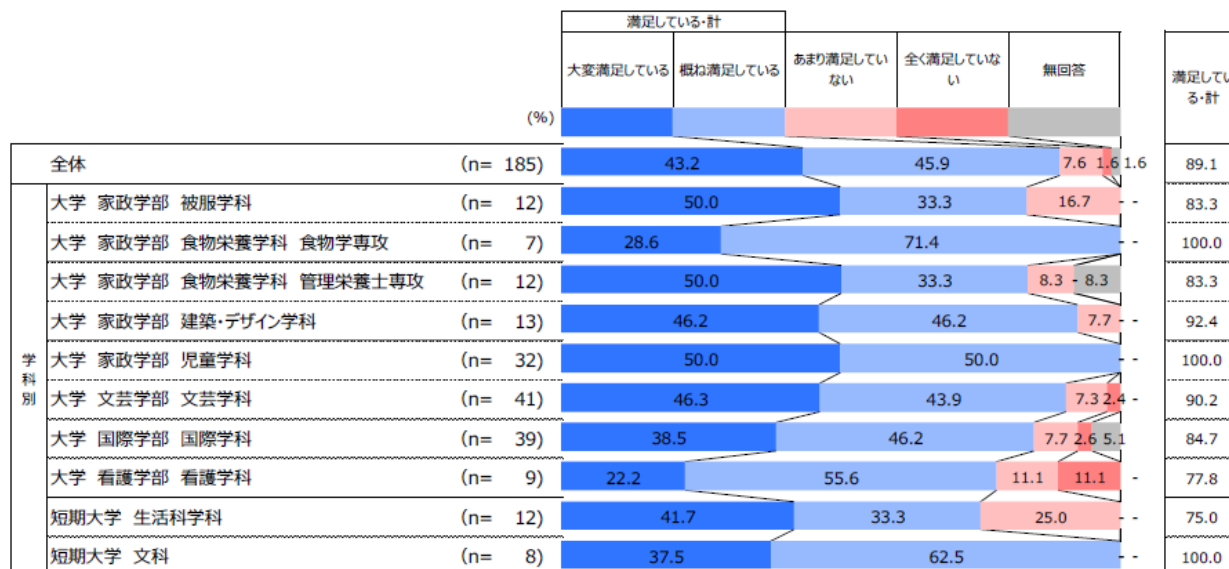
本学の総合満足度

本学の各種満足度を確認したところ、満足している（大変満足している＋概ね満足している）という回答が、本学を卒業して満足しているかは91.3%、卒業した学部・学科に満足しているかは89.1%、本学の施設・設備環境に満足しているかは88.7%であった。本学への進学を周囲の人に勧めたいかどうかは、勧めたい（ぜひ勧めたい＋進めたい）という回答が82.2%であった。

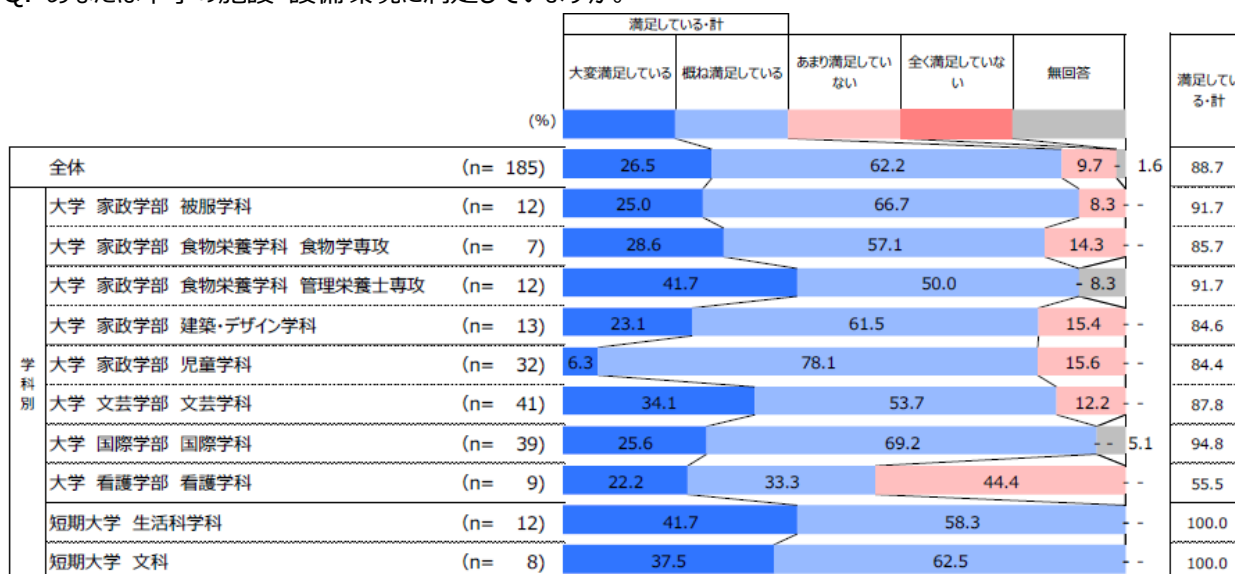
Q.あなたは本学を卒業して満足していますか。



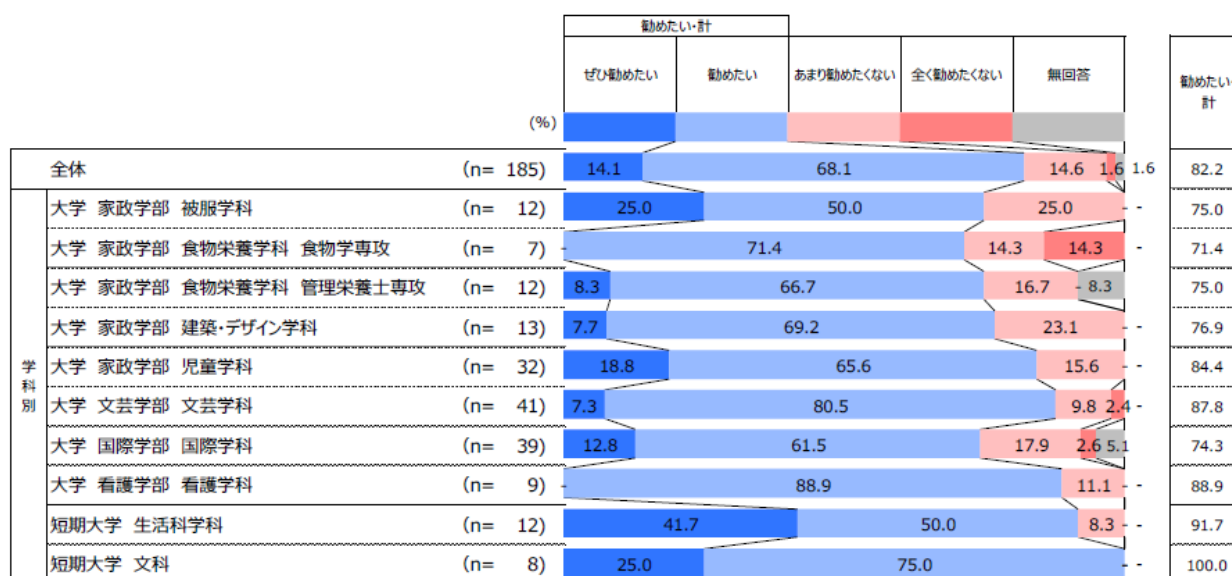
Q.あなたは卒業した学部・学科に満足していますか。



Q. あなたは本学の施設・設備環境に満足していますか。



Q.あなたのお子様や周囲の方が大学進学を目指す際、本学への進学を勧めますか。



以上